

五竜岳 - 鹿島槍ヶ岳 - 爺ヶ岳 50周年記念山行報告書

【山 域】北アルプス北部 後立山連峰

【コース】遠見尾根～五竜岳～鹿島槍ヶ岳～爺ヶ岳～柏原新道～扇沢

50周年記念山行としての広報では、このコースの反対からの縦走でしたが
交差縦走のためB班（CL田中）の報告となります。

【山行形態】山小屋泊まり縦走

【日 時】2016年8月 20日(土) 21日(日) 22日(月)

【天 気】20日 晴れのち曇り、子雨、霧雨

21日 霧雨、子雨のち晴れ時々曇り晴れ

22日 霧雨、雨のち晴れのち曇り小雨のち晴れ、

帰葉の上信越自動車道では台風のため土砂降りの雨台風9号が列島に近づいて、22日関東に上陸しての関係で目まぐるしく変わる天気でした、19日20:30の予想では20日(土)のみ晴れで後は雨予想でしたが、行動中は概ね晴れて65%位? 本当に予想が外れてラッキーな山行になりました。

【メンバー】CL田中、SL村尾、鶴田、山内(記録)

【タイム】20日(土) 五竜テレキャビン駅 7:30⇒(ゴンドラ)アルプス平駅テレキャビン 7:40⇒(リフト)展望台リフト降り場 7:55⇒地蔵ノ頭 8:05⇒小遠見山 9:24⇒中遠見山 9:48⇒大遠見山 10:40⇒西遠見山 11:19⇒白岳 12:50 ⇒五竜山荘 13:00

21日(日) 五竜山荘 4:37⇒五竜岳 6:00⇒北尾根ノ頭 8:56 ⇒口の沢コル 9:20⇒キレット小屋 11:00⇒鹿島槍ヶ岳 北峰 12:00
鹿島槍ヶ岳 南峰 13:00⇒布引岳 14:00⇒冷池山荘 15:40

22日(月) 冷池山荘 4:30⇒赤岩尾根分岐 4:45⇒爺ヶ岳 南峰 6:30
⇒種池山荘 7:25⇒柏原新道 石畳 8:30⇒柏原新道 ケルン 9:25⇒
柏原新道 登山口 10:35⇒扇沢 駐車場 10:45

【報 告】

ちば山50周年記念2016年度日本横断の今回山行コース「爺ヶ岳～鹿島槍ヶ岳～五竜岳」で、交通の便やいろいろな条件で小屋泊まり交差縦走となり、この報告は B班（田中班）五竜岳→鹿島槍ヶ岳→爺ヶ岳の報告です。

鹿島槍ヶ岳と五竜岳は後立山連峰を代表する名山で日本百名山として人気があり特に鹿島槍ヶ岳はその盟主で、秀麗な双耳峰の比類なき美しさは誰でも認めるところで登山者の心を魅了してやまないとのことでした、今回荒天の予想でしたが奇跡的に晴れ渡った五竜岳また爺ヶ岳に向かう縦走路から鹿島槍ヶ岳の美しい双耳報峰を見ることができ、まさに感動ものでした。

19日金曜夜 20:30 に 千葉をA班、B班 2台の車に分乗して、まずは仮眠地の「道の駅ほかほかランド美麻」に向けて高速道の関越→信越→長野IC (0:30) で降りて、一般道で 仮眠地「道の駅ほかほかランド美麻」(1:00) に着いてテントで就寝 (1:30)

20日(土)

仮眠地「道の駅ほかほかランド美麻」 4:00 起床、すぐに支度してここで交差縦走A班(爺が岳から)、B班(五竜岳から)が分かれ、それぞれの入山口に向かう 4:20 出発。我々B班は、今日の入山口、白馬五竜スキー場の「山小屋宿泊者専用」駐車場に移動、空いている場所に駐車 4:50、ゴンドラ、リフトが動き出すのが 7:30 なので再度の仮眠と、朝食をとる。 6:20 に始発のテレキャビン(ゴンドラ)に乗るため歩いて5分のおみ駅(標高 818m)に移動し、始発を待つ。田中さんが切符売り場に一番で並んでくれましたが、すでにとおみ駅の 1,2F は登山客等でいっぱいでした。田中さんの素早い判断、行動には感謝です。

いよいよゴンドラ 7:30 に乗りアルプス平駅(標高 1515m)、歩いて5分、展望リフト乗場でリフトに乗り換え、リフト降り場 7:55、歩きは初めて10分で地蔵の頭(1678m)、わずか35分で標高差 860mを稼げたわけです！ 遙か遠方には白馬三山が見られました。

ここから急坂の苦しい登りの尾根を歩き、天気は晴れでしたが、雲も多く本来ならば西遠見山から西遠見山までにかけて、鹿島槍ヶ岳と五竜岳の岩峰が大迫力で眺められる場所でしたが、残念ながら天気も下り坂になり見られず明日に期待をつなぐ。

白岳(2541m)付近で子雨が降だし、あと30分ほどで五竜山荘に着くとこのことで、風がほとんどないので雨具を着ないで、山荘で衣類を乾燥させるのでそのまま縦走を続ける。予定より早く五竜山荘 13:00 に到着。すぐに宿泊手続きに入るが、山荘の人の話では今日は大勢の宿泊なので、布団1枚で3人お願いとの話で？ どうなることやらと思いつつ、まずは荷物を持って部屋に入り、すぐに身の回りをとりあえず簡単に整理して、着替えを持って、そのまま乾燥室に行き、たまたま女性がいなかったの素早く着替え、次から次と濡れたものを干しました。

もう少し遅かったら、干す場所がなくなるほどの状態で、混雑している山小屋ではこのくらいの行動をしないと生きていけないのでは！！ 夕食まで時間があるので、外に出て小屋の周りを散策しましたが濃霧状態で展望はなし。テント場もほぼ満杯状態で、周りには高山植物が数多くみられました。コマクサがまだ花をつけて可憐に咲いている姿があちこちに見られました。コウメバチソウ、アサマフロウ、エーデルワイスも濃霧の中にかわいく咲いているのが、いじらしいほどでした。

16時過ぎになると小屋も大混雑で人、人ごった返しで廊下を歩くのも、すれ違うのも体をよける状態でした。明日は9~10時間歩行予定で今回山行で一番長い行程のため19時には就寝に着く、明日は早起きの3時起きして、4時出発のため朝食は弁当を依頼。幸い布団一枚に2人で寝ることができ(3人でなくてよかった)



【いよいよ初日の縦走開始地点、まだ天気も良く白馬三山が見えました。】



【明日に登る五竜岳が一望】



【可憐に咲いているコマクサ：五竜山荘にて】

21日(日)

3時起床、素早く身支度して山荘玄関口に行くと、何人かの人達がすでに集まっています、われわれも弁当を広げて立ったままで食べる。4:37 玄関を出て、五竜岳を目指して出発。外は濃霧で視界がきかずまだ薄暗くヘッドランプを点灯、今日から天気が悪くなる予想であったので1日このような天気かと頭を横切るが、雨具はつけず降り始めたらつけることにして歩き始める。前方を見上げると遥か上まで連なったヘッドランプの明かりが濃霧の中にぼんやりと見える。30分ほど登山道を行くとあたりが明るくなるにしたがい濃霧も消え、なんと天気が晴れてきた。そして見上げると屏風のように立ちはだかり、圧倒的な存在感の五竜岳が見えるではないか。意気が上がり標高を上げていくと岩だらけの殺風景のきつい斜面をザレの斜面を登り五竜岳山頂(2814m)。そのまま晴天が続く、少しばかり雲があるが360度の大自然の大パノラマの広がりを見せる。

いよいよ五竜岳から険しい岩稜を縦走して鹿島槍ヶ岳に立ち、冷池山荘までの長い行程に入る。急なガレ場を下り、G4、この付近で規模の大きな岩雪崩の大きな音が聞こえてくる。G5、G7、険しい岩場、ハシゴ、クサリの連続する鋭い崖壁を踏破しキレット小屋11:00に到着。天気が曇り始める、小屋で一休憩し、いよいよ核心部の八峰キレットの急峻な岩場、垂直の岩壁が見え隠れする、岩壁に張られたクサリをしっかり握って慎重に通過。途中で交差縦走A班と出逢い、写真撮影、車のカギの交換、駐車場所の情報等打ち合わせして、またそれぞれの本日の予定地の山荘小屋を目指す。八峰キレットの難所を終えて、鹿島槍ヶ岳北峰の横の吊尾根12:00を通り、鹿島槍ヶ岳南峰(2889m)13:00に到着。曇りで残念ながら展望が開けず。一路ハイマツ帯を進み布引岳14:30到着。ここで関東地方に明日22日は、台風9号が上陸して山も荒天で朝から雨の予想なので最悪の場合を想定して(先の休憩したキレット小屋の御主人も明日は朝から荒天だから早目に出発して、下山をしたほうが良いと言っていた)、第1案 赤岩尾根分岐から赤岩尾根に入り大谷原に降りる。ただ車の回収が大変なので、第2案としてこのまま曇り天気のうちに今日の泊まりの冷池山荘を通り過ぎ一気に約3時間かけて明日の下山口の種池山荘まで行って泊ることも視野に入れ、道を急ごうと歩き始めたが、着くのが18時~19時になる可能性もあり断念して、予定通りの冷池山荘15:40に到着して宿泊手続きをする。天気の荒天予想が影響して山荘の泊まりのキャンセルが相次ぐとのことで部屋は空きが多く。昨日の五竜山荘の今居の布団に2人とは打って変わり8人部屋の一部屋に我々4人のみで泊まれることになりました。それほど今日、明日と天気の予想は最悪の雨の予想でした。とりあえず夕食までの間、自炊兼談話室で生ビールなどで乾杯。食堂も第2回目の時間だが、人数が少なく我々4人含めて、6名のためオーナーが自ら食事の世話をされてゆったりと食事ができました。

明日は朝から本降りの雨予想なので、また3時起き、朝食の弁当4:00を食べ

て、雨具をつけ出発する旨の準備万端にして 19 時に就寝。



【朝日に輝く五竜岳を見上げ、これから頂上を目指す。】

【五竜岳頂上にて】



【交差縦走での A 班、B 班が八峰キレット上で】 【鹿島槍ヶ岳の頂上にて残念ながらあたりは濃霧】

22 日(月)

冷池山荘 3 時起床、身支度して 4 時に朝食の弁当を受け取、すぐに食べ始め、4 : 30 に出発するも外は濃霧で、予想どうりの雨になるかと思いつつ歩き始めてすぐに雨が降り出したので全員すぐに雨具を着用。荒天を覚悟でさらに登り始めて 40 分ほどであたりが明るくなりだしたのでヘッドライトの明かりを消すと同時に、急に朝日が出始め、奇跡のごとく晴天となり遠くの山々が見え始める。

後ろには昨日、曇りで展望がきかなかつた鹿島槍ヶ岳の優美な双耳峰、右には立山連峰の鋭く尖った劔岳、前方には裏銀座の山々や遠くに穂高連峰、槍ヶ岳もかすかに見える大パノラマが広がる。これらの展望を伴い、途中途中で写真のシャッターを切りながら、また足元の高山植物の数々のお花畑を見ながら、本日の目指す爺ヶ岳を前方に見て、北峰、中央峰のわき道を進み爺ヶ岳の南峰 (2660m) 6 : 30 に着く。ここでも晴天で鹿島槍ヶ岳、劔岳、立山連峰 360 度のパノラマを楽しむ。種

池山荘を目指して下山開始、山荘に 7:25. しばしの休憩後、柏原新道を降りはじめ扇沢へ 10:35 に着く。駐車場から車で大町の「薬師の湯」で温泉につかりしばし汗を流す。それから初日の仮眠地「道の駅 ほかほかランド美麻」で再度交差縦走 A,B が合流し食事と精算してそれぞれ帰葉する。途中高速道は台風 9 号千葉に上陸したため文字通り最後の最後が荒天の土砂降り。



【爺ヶ岳（南峰）頂にて】



【種池山荘と立山連峰の劔岳】



【美しい日の出であるが、台風の悪天が迫りくる不気味さを秘めた旭】